

Contents

第50回日本血管外科学会学術総会	
2次会告	1
特別寄稿—新名誉会員—	2
タバコと血管病	
福田幾夫	
特別寄稿—名誉会員—	3
血管外科と私	
根岸七雄	
総会報告（第49回学術総会）	4
石橋宏之	
寄稿—女性血管外科医—	5
女性血管外科医として生きる	
河野暢子	
2020年最優秀論文	6
お知らせ・関連学会学術総会情報	7
日本血管外科学会雑誌 オンライン版目次	
Vol. 30 No. 4	9

第50回日本血管外科学会学術総会会告（第2次）

第50回日本血管外科学会学術総会を下記の通り開催いたします。コロナ禍ではありますが、第50回学術総会は可能な限り現地開催を行いたいと考えており、鋭意準備を進めております。

テーマは「血管外科の醍醐味」としました。血管外科は大動脈から末梢動脈、静脈に及ぶ全身を対象とした分野であり、また、生命や下肢の救済を目的として、日夜問わず、緊急でも対応しなければならない領域です。血管外科医は日頃から大変な努力を強いられ、国民の健康寿命に大きく貢献しています。しかし、他科と比較すると、血管外科を目指す若手医師は多くなく、国民からも血管外科というものを十分には理解されていない状況を感じます。今回の学術総会では、さまざまな治療手技での血管外科全体の醍醐味を若手医師に示し、魅力を感じて頂きたいと思うと同時に、社会一般に血管外科というものをもっと知って頂きたいと考えております。

招請講演として、Axel Harverich 先生（Hannover）、Anthony Estrera 先生（Texas）をはじめとして約10名による講演を予定しております。その他、特別企画、教育講演、シンポジウム、市民公開講座を準備しました。また、50周年記念の企画も準備しております。多くの若手医師が聞いて興味を持ち、役に立ち、そして魅力を感じる内容を重視いたしました。

演題募集期間は例年より早めにスタートいたします。実り多い魅力有る学術総会になることを心より期待しております。

第50回日本血管外科学会学術総会 会長 明石英俊

記

会 期：2022年5月25日（水）～27日（金）

会 場：リーガロイヤルホテル小倉ほか

会 長：明石英俊（社会医療法人共愛会戸畑共立病院顧問・血管外科部長、元久留米大学外科学講座教授）

テーマ：血管外科の醍醐味

The attractive aspect of vascular surgery

プログラム内容（予定）：

理事長講演、会長講演、特別講演、シンポジウム、パネルディスカッション、特別企画、医療安全講習、教育講演、教育セミナー、一般演題等

演題募集期間：2021年10月5日（火）～11月4日（木）

※演題登録はすべてオンライン登録です。

学術総会ホームページ URL：https://www.jsvs50.jp/

■事務局

社会医療法人 共愛会

〒804-0092 福岡県北九州市戸畑区小芝二丁目4番31号

TEL：093-871-5401（直） 内線：2936

FAX（病院内共有）：093-330-0042

E-mail：jsvs50@kyoaikai.com

■運営事務局

ネクストイノベーションパートナーズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-6-13

TEL：03-3527-3853 FAX：03-3527-2456

E-mail：jsvs50@nip-sec.com

編集 日本血管外科学会 広報委員会

発行 特定非営利活動法人 日本血管外科学会
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-27
テラル後楽ビル1階
TEL：03-6801-6220
E-mail：office@jsvs.org
http://www.jsvs.org/ja/

制作 株式会社国際文献社

タバコと血管病

吹田徳洲会病院心臓血管センター 福田幾夫

このたび日本血管外科学会の名誉会員に推薦いただきましたことを大変光栄に存じます。私は2007年から本学会の理事を13年間務めさせていただきました。理事在任中は、学術委員長として春秋年2回の教育セミナーの計画と開催、血管内治療ワークショップなどの3つのワークショップの立ち上げのお手伝いをさせていただきました。これらのワークショップでは、若手血管外科学会員と交流をすることができ、Distal Bypass Workshop 修了生のドイツを中心とした海外血管外科施設での研修のお手伝いもさせていただき、大変楽しい経験をさせていただきました。



2014年には第42回学術総会を主催し、この時に学会としての禁煙宣言を出し、禁煙推進委員会を立ち上げ、その後毎年の学術集会での禁煙セミナーの開催を行いました。外科系医学会の中で禁煙活動に積極的に取り組んでいるのは当学会と日本産婦人科学会のみで、禁煙推進学術ネットワークの理事も務めさせていただき、現在は同ネットワーク顧問として禁煙推進活動に関わっております。

皆さんご存じのように、喫煙は血管病の主要な危険因子です。40年前、私が血管外科に関わり始めた頃はバージャー病が血管診療の中心疾患の一つで、足趾や手指の潰瘍を合併するバージャー病に対する腰部・胸部交感神経節切除術を数多く経験しました。バージャー病と喫煙の関係は古くから知られており、最近では喫煙による口腔内環境の悪化による口腔内細菌の侵入がその成立に関与することが指摘されています。末梢血管疾患の主役は閉塞性動脈硬化症に交代しましたが、こちらも喫煙が予後悪化因子であることは承知の通りです。さらに喫煙は虚血性心疾患の重大な危険因子で慢性閉塞性呼吸器疾患の原因でもあり、大動脈瘤手術の周術期呼吸器・循環器系合併症の介入可能な予後悪化因子、周術期危険因子である事は皆様ご存じの通りです。しかしながら外来でタバコをやめない血管病患者に口を酸っぱくして禁煙を勧めても、次の外来でタバコの匂いをプンプンさせながら受診されて、禁煙指導を諦めてしまった経験が数多くあるかと思います。禁煙指導を行うにも、どのように患者にアプローチすべきかの教育を外科医は受けておらず、禁煙外来も敷居は高いのが現実であると思います。

日本麻酔科学会は以前から禁煙活動に熱心で、2015年に「周術期禁煙ガイドライン」を発表しています。今回、このガイドライン全面改訂に禁煙推進学術ネットワークから外科系委員として参加し、新たに「周術期禁煙プラクティカルガイド」を発表しました。この中には術前の禁煙期間をどの程度設けるべきか、どのような禁煙治療を選択し術前に組み込むべきか、術前禁煙のための外科医の助言とチーム医療の重要性、海外の外科系学会の禁煙の取り組みなどが記載され、手術チームのためのより実践的なガイドラインとなっています。さらに日本血管外科学会 web-site の top page には日本循環器学会等から発表された「禁煙治療のための標準手順書」最新版のリンクが貼っておりますので、こちらも参考にいただければ幸いです。

禁煙指導の情報通信機器を用いた診療や禁煙アプリの保険点数認可など新しい動きもあり、周術期合併症を減らし、外科手術後の長期予後改善してゆく為にも、日本血管外科学会が外科系学会の中で禁煙推進活動の中心的な役割を果たしていただくことを期待しております。

血管外科と私

日本大学名誉教授、武蔵野総合病院名誉院長 根岸七雄

私はすでに大学退任後13年が経過した。進歩著しい血管外科治療には次第に縁遠くなってきたが、自分が長い間関わってきた血管外科を振り返って責を果たしたいと思う。

本邦における胸部外科のパイオニア宮本忍教授の医局をベースにインターン制度廃止（昭和42年）の最後となった研修を開始しそのまま宮本外科に入局した。宮本先生は「患者には愛情を病気には闘志を」をモットーに病態生理を重視する新しい外科学の印象を受けた。教育は偏った医師に成らないようにと、入局6年間は外科全般（心臓、呼吸、一般外科）の基礎を身につけさせ、その後それぞれの専門に進む教育方針であった。昭和51年4月には瀬在幸安先生が主任教授に就任され、「現状維持は退歩の始まり」をモットーに心臓外科を積極的に推進してきた。先生は昭和45年2月にA-Cバイパスを本邦で最初に成功させたことや昭和57年に補助人工心臓の離脱に成功するなど、心臓外科領域で華々しい業績を挙げてきていた。



一方、当時当科の血管外科班は、主に一般外科班に属し医局では少人数の臨床、研究班であった。入局して暫くすると血管外科班の先輩達は諸般の事情で次々と退局し、いつの間にか私が指導をする立場になり、忙しい毎日を送った思い出がある。

そんな時、瀬在教授から昭和57年4月三島好雄教授主宰する「FOY研究会」に出席するように命ぜられた。参加すると三島先生から「瀬在先生の医局の根岸君か」と声をかけられ、恐る恐る懇親会の2次会までお供した。その席で当時小田原市民病院の安野憲一先生とお話する機会があり、岩井武尚先生が代表世話人を務める「血管外科症例検討会」への参加を誘われた。その後多くの若い血管外科医とお会いするキッカケとなり、私と血管外科の本格的な関わり始めとなった。

自分達で悩む症例をその検討会に持参しみんなで診て、経験をみんなで話し、検討し最善の結論を持って手術に立ち向かったものだ。次第に血管外科の仲間に入ることが出来、検討会の世話人や執筆の分担を依頼されたり、大いに勉強になった。次第に大学の症例も増え、仲間も集まり、研究発表も増えてきた。

当班の代表的な実験的研究「MNMSの病態と治療」で本症の病態は局所における組織障害がサイトカインネットワークの活性化を起し遠隔重要臓器の組織障害を発生することを証明した。臨床的研究では当時閉塞性動脈硬化症（ASO）や腹部動脈瘤（AAA）の患者さんが、術前、術後に心筋梗塞や心不全で突然亡くなる例が見られ苦慮していたので、「ASOとAAAの術前・術後の病態研究」を行い、冠動脈のスクリーニングを積極的に行った。その結果はそれらの疾患の治療方針と管理に重要な示唆を与える貴重な結果が得られた。

このように血管外科を通して当科の一時期を多くの素晴らしい仲間と共に過ごすことが出来た。これもよき師、先輩、後輩に恵まれたことは勿論、対外的には安野先生との袖すりあった縁や岩井教授との縁がキッカケで本格的に血管外科の仕事を始め、第36回日本血管外科学会学術総会までも担当させて頂き名誉会員となったことを大変光栄に思っている。関係各位に改めて御礼と深甚なる感謝を申し上げ稿を終わる。

総会報告

学術総会を終えて

第49回日本血管外科学会学術総会会長
愛知医科大学血管外科 石橋宏之

第49回血管外科学会学術総会を無事開催することができました。会員の皆様に厚く御礼申し上げます。テーマを「次のステージへ、次の世代と：To the next stage, with the next generation」と定め、通常開催、悪くてもハイブリッド形式として準備してきました。しかし、COVID-19収束どころか、第4波ピークと重なり、愛知県内に緊急事態宣言が発出された直後の開催となりました。困難の中、573題の演題応募をいただき、採用557題、特別セッションを含めて全625演題に発表していただきました。完全web開催の利点を生かし、全国津々浦々の方に参加していただき、有料参加者数1,637名、総参加者数1,969名でした。

「天命に任せて人事を尽くす」と題して会長講演を行いました。準備において、COVID-19蔓延で思うように企画が進まず、資金調達に苦労しましたが、この時期に会長を引き受けたことを天命と考え、皆様のお力添えで成功裏に終えることができました。

特別講演は、将棋藤井聡太二冠の師匠である杉本昌隆八段に、天才棋士の育て方についてお願いしました。その講演の中に「指した手が最善手」という言葉があり、今後の人生に役立つ心強い言葉でした。学術総会后、藤井二冠は初防衛に成功し、師匠を抜いて九段に昇段しました。

若手血管外科医向けシンポジウム「血管外科医としての夢を実現」では、9名の若手中堅血管外科医に今までの歩みや生きる姿勢などを述べていただきました。血管外科の明るい次世代を実感することができました。

海外招請演者は、SVS 会長 Dalman 先生、ドイツの Lang 先生など11名にお願いしました。臨場感が出るように、米国西海岸の演者は午後に、欧州の演者は午前に講演をお願いしましたので、ライブ紹介と合わせて臨場感が出たと思います。

シンポジウム以外はアーカイブ発表で、2名の座長体制で少なくとも2名から質疑があるようにし、活発な議論をしていただきました。

医療安全講習会や教育セミナーなどのクレジット付きセミナーは完全オンデマンド視聴としましたので、会員の皆様に好評でした。

4回線で放映しましたが、1回線を共催セミナー専用としました。そして、視聴者にランチ補助としてQUOカードを提供しました。お陰様で、各セミナーに視聴者が満遍なく集まり、共催メーカーからも好評価をいただきました。

Web開催で、皆様の顔を直接拝見できなかったこと、名古屋の美味しい料理でおもてなしできなかったことが残念でした。来年の明石会長には、名古屋記念として「金の鯨鰯」の置物をプレゼントしました。来年の会場に飾っていただけるとのことです。来年は「金の鯨鰯」を見ながら、会員の皆様と直接議論を交わし、北九州の美味しい料理と酒を堪能したいと願っています。



女性血管外科医として生きる

関西医科大学総合医療センター血管外科 河野暢子

2020年、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い New Normal なる言葉が誕生し私たちの生活スタイルは一変した。

私はというと、2020年4月の緊急事態宣言中に父が毎日花の写真と「元気か?」というLINEを送ってくれたことが支えとなり、自分自身が心身ともに健康であることが最も大事だと改めて痛感した。そんな中、夫とも出会い結婚を決めて小さな命も授かった。

今までの私は「女性血管外科医」といっても、男性医師と同じように働いていたし、体力にも自信があったのでジェンダーギャップについて感じることはさほどなかった。しかし実際に妊娠して放射線被曝する治療には参加できなくなったり、家庭での役割が増えたりすると、自分がどのようなスタイルで生きていくべきなの（生きていけるの）かと不安で仕方がない。

私は循環器疾患および外科が好きで心臓血管外科へ入局を決め、中でも私にも継続可能な診療科である血管外科の道を選んだ。卒後7年目までは母校の和歌山県立医科大学に在籍し心臓外科を中心に修練を行った。出向時には県内でも血管外科手術を多く行っている済生会和歌山病院を志願し、また休暇をとって東京医科大学や関西医科大学の血管外科に1週間見学に行ったり、とにかく将来血管外科を専攻していくという強い意思を持って自身の道を切り開こうとしてきた。卒後8年目からは志願して関西医科大学に移り、駒井宏好先生の元で本格的に血管外科の修行を積み始めた。関西医科大学では少人数の医局員で多数の症例をこなすため、自分の判断で血管患者のマネジメントをする機会が増えた。その甲斐あって一昨年には心臓血管外科専門医を取得することができた。昨年10月からは本学の善甫宣哉先生の元で半年間ステントグラフトの修行を行い、腹部デバイスの指導医も取得できた。今は卒後14年目で自身の修練を積みながらも、社会人大学院生として博士号の取得を目指し、また後輩への指導も行っている。

血管外科は大血管から末梢動脈、静脈、シャント、血管内治療、保存的治療とさまざまな分野にわたるので、ライフスタイルに合わせて診療へのかかわり方を変えられることが“女医”としてキャリアを積み上では魅力である。また、いろんな部署のコメディカルとのかかわりも多く、一部その役割も担わなくてはならない場面もあり、役割分担がfuzzyなのも特徴ではないだろうか。私は幸いにも一通りの経験をしてきたので、今後のライフスタイルの激変の中でも業務内容を流動的に変化させて継続していける自信が備わったし、またそうするしかないと考えている。

ただキャリアの早い段階でライフスタイルが変わる女性医師ももちろんいて、彼女たちがあきらめずに大好きな血管外科をやっているように見えるような教育体制もこれからは必要になる。幸いにもこのコロナ禍でwebinarなるセミナーもたくさん開催され、遠くにいっても参加しやすくなっている。関西医科大学では女性医師支援センターという組織があり、時短勤務でも正職員として勤務できる制度や保育所の完備、シミュレーションセンターでの復帰サポートなど充実しており、女性医師が感じるブランクをできるだけ小さくしてもらえそうな体制があるのもありがたい。このようなものを活用し、実践に即した教育、支援が実施されれば良いと思う。また血管外科学会女性医師支援委員会（現 ダイバーシティ推進委員会）が中心に女性医師が集まる会を企画して下さったのだが、このような施設間での女医の交流も支えになる。

私は「女性医師」として何か優遇されたいなどとは思っていないが、みんなが右にならえ、で同じように働くのもこれからは難しい。ただ自分のキャリアに対し信念をもって向き合うことで、必ず道は開けると信じている。環境問題においてsustainabilityが注目されているが、これは職場環境にも当てはめることができる。女性が辞めずに働ける職場はしなやかに変化できる組織だと思う。一方で「育児・介護休業法改正案」の成立など、法の整備が進むに伴い男性医師を含む社会全体の意識改革も必須である。私が女性血管外科医として存在することで、女性だけではなく男性も含めた血管外科医全体が持続可能な発展を続けられるような…何かその一助になれば嬉しいと思う。



2020年最優秀論文

日本血管外科学会編集委員会
委員長 駒井 宏好

『日本血管外科学会雑誌』2020年の掲載原著論文のなかから下記の論文が2020年最優秀論文に選出、認定されました。

記

Perfusion Index を用いた簡易的重症下肢虚血評価の可能性の検討
山本暢子*（関西医科大学総合医療センター血管外科）ほか
29巻2号 pp. 103-108

選出理由：Perfusion Index（灌流指標：以下 PI）はパルスオキシメーターによる動脈血酸素飽和度波形を用いた末梢灌流状態を表す指標であり、本論文は PI を用いて末梢動脈疾患（PAD）の早期発見・重症度の識別が可能か検討したものである。研究結果から、PI は PAD が重症になるにつれ低値となることが示され、さらに PI 平均値で包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）のカットオフ値を 0.27 と設定すると、カットオフ値以上の跛行例では CLTI に進行しない症例が多いことが示された。簡便かつ無侵襲に測定できる PI を用いて、PAD 患者の重症度の識別および潜在的重症下肢虚血の早期発見が可能であることが示唆され、これらの知見が今後の PAD 症例に対する治療戦略の判断に寄与できるものと考えられた。

*現在は河野暢子

■学会からのご案内

会員登録内容に変更があった場合は、下記 URL より速やかに変更手続きをしてください。原則としてご自身で変更修正等を行っていただいておりますが、不都合がございましたら事務局宛にメールか FAX にて変更内容をご連絡ください。事務局にて変更を行う場合は文書での記録が必要となりますので、お電話でのご連絡はお控えいただけますようお願い申し上げます。

会員登録情報変更：http://www.jsvs.org/ja/application/guidance_change/

お知らせ

●地方会あり方委員会

○日本血管外科学会地方会のあり方について

日本血管外科学会理事長 古森公浩

地方会あり方委員会委員長 澁谷 卓

日本血管外科学会では、「地方会個別での会員管理を廃止し、日本血管外科学会会員に統一する。また、地方会ごとに行っていた年会費の徴収を日本血管外科学会年会費に統合する」事に変更し2023年度より施行すべく準備を進めています。

この変更は心臓血管外科専門医認定機構による専門医制度の申請・更新時の単位を認めるうえでも、整合性をとるために必要な制度改革です。

この変更により以下のような利点が考えられます。

○日本血管外科学会のすべての会員はいずれかの地方会に属することになり、本学会、地方会からの情報の伝達もれが少なくできます。

○会員管理の重複を避けることができ、事務業務の効率化が期待できます。

○日本血管外科学会、地方会の一体感が増すことにより、学会からの発信力が増します。

この制度改革による会員のみなさまへの影響は、現在個人会員として地方会年会費を払っている方の負担は変化しません。施設会員として地方会年会費を収めている場合は、施設からの徴収はなくなり、個人が負担することになります。また、地方会にだけ所属する会員（医師に限る）はなくなります。

一部の会員には、これまで所属施設が支払っていた会費分の支出増（負担額は施設負担額より減少）になりますが、学会として本来の、より望ましい形態に戻す意味合いから、この制度改革をご理解いただきますよう、よろしくお願い致します。

具体的には、現行年会費10,000円から地方会費分を加え13,000円に変更になります。

●データベース管理運営委員会

下肢静脈瘤に対する血管内塞栓術（Venaseal）のNCD入力につきまして、下記方法にて登録をお願いいたく、ご案内申し上げます。

○下肢静脈瘤に対する血管内塞栓術（Venaseal）のNCD入力方法

術式1に「OT 0093 経皮的静脈塞栓術」を入力する。

【伏在静脈系の処置】に「血管内治療」を選択する。

【血管内治療の詳細】に「その他」を選択する。

なお、2022年改修にて、NCD登録の術式に新たに「下肢静脈瘤血管内塞栓術」を加える予定です。

●学術委員会

以下の通り、本年の教育セミナー及びワークショップ開催日をご案内いたします。新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、開催形式の変更や、延期、中止となる可能性がございますので、ホームページにて必ず最新情報をご確認ください。会員のみなさまの多数のご参加・ご応募を

お待ちしております。

○第33回教育セミナー

【日 時】2021年10月16日（土）AM 開催予定

【場 所】第62回日本脈管学会総会時会場内（札幌）

【テーマ】ステントグラフト合併症の予防と治療

※申し込み方法等は、ホームページ及びメール配信にてご案内いたします。

○第4回ステントグラフトワークショップ

【日 時】2021年11月3日（水）PM

【場 所】グランドプリンスホテル新高輪（第74回日本胸部外科学会定期学術集会会場内）

日本胸部外科学会への参加は必須ではありません。

【募集人数】30名（抽選）

【参加費】5,000円

【対 象】ステントグラフトの技術習得を希望する若手心臓血管外科医（研修医も可とする。ただし日本血管外科学会会員であること）

○第6回血管内治療ワークショップ

【日 時】2021年11月20日（土）・21日（日）（1泊2日）

【場 所】ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート東京

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番19号

Tel: 044-288-7050

【募集人数】20名（抽選）

【参加費】50,000円（テキスト代込み、宿泊費別）

【対 象】下肢末梢血管に対するアドバンスレベルの血管内治療を始めようとする血管外科医で、腸骨動脈瘤変に対する血管内治療の経験を有することが望ましい。

○第7回 Distal Bypass Workshop

【日 時】2021年11月27日（土）・28日（日）（1泊2日）

【場 所】ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート東京

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番19号

Tel: 044-288-7050

【募集人数】40名（抽選）

【参加費】50,000円（テキスト代、宿泊費別）

【対 象】末梢バイパスの技術習得を希望する心臓血管外科医（大腿膝窩動脈バイパスまたはそれに準じる手術経験を有し、今後 distal bypass 手術の実施を目指している日本血管外科学会または日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会のいずれかの会員医師）

●国際委員会

○第22回アジア血管外科学会（ASVS 2021）／第16回アジア静脈フォーラム（the 16th AsVF）のご案内

会期：2021年10月11日（月）～13日（水）

会場：ロイトン札幌（ハイブリッド開催予定）

大会長：東 信良（旭川医科大学外科学講座血管外科学分野教授）

メインテーマ：— New Era, New Style!! —

ホームページ：<http://www.congre.co.jp/asvs2021/>

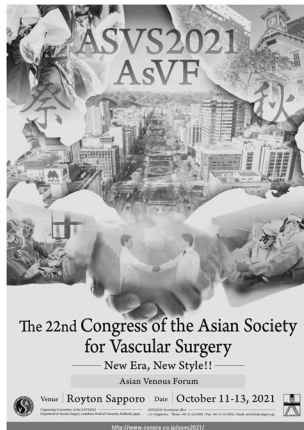
発表言語：すべて英語

詳細は順次ホームページへ掲載いたします。

<http://www.congre.co.jp/asvs2021/cfa/index.html>

TEL: 072-807-3890 FAX: 072-807-3898

E-mail: ascvts2022@atalacia.com



●第30回アジア心臓血管胸部外科学会 (30th ASCVTS 2022) のご案内

第30回アジア心臓血管胸部外科学会 (ASCVTS 2022) が2022年3月24日 (木)～27日 (日) に奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～にて開催いたします。アジア各国の心臓血管外科、胸部外科の活動成果の交流を実現すべく、多彩なセッションやプログラムの企画を進めております。多数の演題のご応募、ご参加をお待ちしております。

第30回アジア心臓血管胸部外科学会 (ASCVTS 2022)
会長 大北 裕

会期：2022年3月24日 (木)～27日 (日)

会場：奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～

〒630-8212 奈良市春日野町101

TEL: 0742-27-2630 FAX: 0742-27-2634

会長：大北 裕 (神戸大学名誉教授/社会医療法人愛仁会 高槻病院心臓・大血管センター長)

プログラム内容：招請講演、特別企画、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、ランチョンセミナー、モーニングセミナー、イブニングセミナー、一般演題 (口演・ポスター)、他

演題募集締切：～2021年11月5日 (金) 正午

※詳細は大会 HP をご参照ください。

参加登録期間：2021年9月1日 (水)～2022年2月15日 (火)

※詳細は大会 HP をご参照ください。

クレジット：本会参加により心臓血管外科専門医のクレジットとして講習参加1回として認定されます。本会参加により呼吸器外科専門医のクレジットとして学会参加0.5回として認定されます。

大会 HP: www.atalacia.com/ascvts2022/

事務局：第30回アジア心臓血管胸部外科学会 事務局

神戸大学大学院医学系研究科心臓血管外科学分野内

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2

TEL: 078-382-5942 FAX: 078-382-5959

運営事務局：第30回アジア心臓血管胸部外科学会 運営事務局

株式会社 Atalacia 内 担当：国島

〒573-1116 大阪府枚方市船橋本町1-775

関連学会学術総会情報

※詳細については各学会ホームページでご確認ください。

(8月26日時点の情報です。ご注意ください。)

■2021年 ASVS (Asian Society for Vascular Surgery)

会期：October 11-13, 2021

会場：Royton Sapporo

11-chome-1 Kita 1 Jonishi, Chuo-ku, Sapporo, Hokkaido

会長：Nobuyoshi Azuma

URL: <http://asianvascular.com/index.php/venue/2021/>

■第62回日本脈管学会総会

会期：2021年10月14日 (木)～10月16日 (土)

会場：ロイトン札幌

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西11丁目

会長：東 信良 (旭川医科大学外科学講座血管外科学分野)

URL: <https://www.congre.co.jp/62jca2021/index.html>

■第74回日本胸部外科学会定期学術集会

会期：2021年10月31日 (日)～11月3日 (水・祝)

会場：グランドプリンスホテル新高輪

〒108-8612 東京都港区高輪3-13-1

会長：志水秀行 (慶應義塾大学医学部外科学/心臓血管外科)

URL: <https://jats-meeting.org/74/index.html>

■第2回日本フットケア・足病医学会年次学術集会

会期：2021年12月10日 (金)・11日 (土)

会場：パシフィコ横浜ノース

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

会長：溝上祐子 (公益社団法人日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程課程長)

URL: <http://jfcpm2021.umin.jp/index.html>

■第52回日本心臓血管外科学会学術総会

会期：2022年3月3日 (木)～5日 (土)

会場：パシフィコ横浜ノース

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-2

会長：鈴木孝明 (埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科)

URL: <https://site2.convention.co.jp/js cvs52/>

■第30回アジア心臓血管胸部外科学会 (30th ASCVTS 2022)

会期：2022年3月24日 (木)～27日 (日)

会場：奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～

〒630-8212 奈良市春日野町101

TEL: 0742-27-2630 FAX: 0742-27-2634

会長：大北 裕 (神戸大学名誉教授/社会医療法人愛仁会 高槻病院心臓・大血管センター長)

URL: www.atalacia.com/ascvts2022/

■第5回関東甲信越 Venous Forum

会期：2022年3月27日 (日)

会場：つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3
当番幹事：土田博光（誠潤会水戸病院心臓血管外科）
URL：https://kantokoshinetsuvf.wixsite.com/kkvf-5th

■第122回日本外科学会定期学術集会

会期：2022年4月14日（木）～16日（土）

会場：熊本城ホール 他

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3

会長：馬場秀夫（熊本大学病院病院長，熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学教授）

URL：https://www.jssoc.or.jp/jss122/index.html

■第28回日本血管内治療学会学術総会

会期：2022年6月24日（金）・25日（土）

会場：名古屋コンベンションホール

〒453-6102 名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート

会長：宮地 茂（愛知医科大学脳神経外科）

■第42回日本静脈学会総会

会期：2022年7月7日（木）～8日（金）

会場：ステーションコンファレンス東京

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4～6F

会長：広川雅之（お茶の水血管外科クリニック）

日本血管外科学会雑誌 Vol. 30（2021）Contents

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsvs/-char/ja/>

Vol.30 No.4

講 座

- ・慢性腸管虚血
隈 宗晴（公立学校共済組合九州中央病院血管外科）
pp. 205-209
- ・2020年改訂版大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン—
疫学・病理・定義・診断・検査—
坪 宏一（日本医科大学循環器内科）
pp. 241-245
- ・2020年改訂版大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン—
胸部・非解離—
志水秀行（慶應義塾大学外科学（心臓血管））
pp. 247-250
- ・2020年改訂版大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン—
胸部・解離—
岡田健次（神戸大学大学院医学研究科外科学講座心臓
血管外科分野）
pp. 251-257
- ・2020年改訂版大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン—
腹部—
坂野比呂志（名古屋大学大学院血管外科）
pp. 259-263

原 著

- ・深部静脈血栓症における肺血栓塞栓症と担癌患者の関連性
松野寛子ほか（岐阜大学医学部附属病院検査部）
pp. 213-218

症 例

- ・総大腿動脈病変を伴う浅大腿動脈の長区間閉塞に対し、
血栓内膜摘除後に Viabahn スtent グラフトを留置した

ハイブリッド手術の3例

尤 礼佳ほか（東京都済生会中央病院血管外科）

pp. 195-199

- ・人工膝関節置換術後に生じた巨大な膝窩動脈仮性瘤に対
して VIABAHN を留置した1例
三森義崇ほか（公益財団法人山梨厚生会山梨厚生病院
心臓血管外科）
pp. 201-204

- ・2-debranching+single chimney TEVAR 後の感染性仮性腕
頭動脈瘤に対し double D technique を用い血管内治療を
し得た1例

神藤由美ほか（沼津市立病院心臓血管外科）

pp. 219-223

- ・ステントグラフト内挿術2年後に発症した IgG 4 関連炎症
性腹部大動脈瘤の1例

角野 聡（札幌白石記念病院心臓血管外科）

pp. 225-228

- ・慢性解離性胸腹部大動脈瘤破裂に対して TEVAR を施行し
た1例

大山詔子ほか（沖縄県立南部医療センター・こども医
療センター心臓血管外科）

pp. 229-232

- ・特発性大網血腫の1切除例

船越薫子ほか（東京都立多摩総合医療センター外科，
東京都保健医療公社大久保病院（血管外科））

pp. 233-236

- ・永久気管瘻を有する急性 A 型大動脈解離に対する胸骨部
分切開による上行置換術の1例

渋川貴規ほか（堺市立総合医療センター心臓血管外科）

pp. 237-239

VenaSeal™ closure system



医療用接着材（グルー）による
下肢静脈瘤血管内塞栓術

熱を使わない
TLAを使わない
硬化剤を使わない
術後圧迫がいない*

5年後の閉塞率¹

94.6%

世界で
10万例以上
の治療実績

術後1ヶ月の
患者満足度²

98%

User Friendly

自動制御された
出力・温度・
焼灼時間により
手技の標準化
をサポート

5年後の閉塞率³

94.9%

ClosureFast™ Radiofrequency ablation system



高周波（RF）による
下肢静脈瘤血管内焼灼術

世界で **20年**
日本で **約10年**
の治療実績

5年後の
VCSSスコア改善率³

72%

*大きな側枝静脈瘤がある場合や、同時に瘤切除を行った場合は除く

1 Morrison, N., et al. Five-year extension study of patients from a randomized clinical trial (VeClose) comparing cyanoacrylate closure versus radiofrequency ablation for the treatment of incompetent great saphenous veins. Journal of vascular surgery: Venous and lymphatic disorders, 2020;8(6):978-989.
2 Gibson, K., Ferris, B. Cyanoacrylate closure of incompetent great, small and accessory saphenous veins without the use of post-procedure compression: Initial outcomes of a post-market evaluation of the VenaSeal System (the WAVES Study). Vascular, April 2017;25(2):149-156.
3 Proebstle, TM., et al. Five-year results from the prospective European multicentre cohort study on radiofrequency segmental thermal ablation for incompetent great saphenous veins. Br J Surg, February 2015;102(3):212-218.

お問い合わせ先
コヴィディエンジャパン株式会社
Tel:0120-998-971

medtronic.co.jp

一般的名称：血管内塞栓促進用補綴材
販売名：VenaSeal クロージャー システム
医療機器承認番号：23100BZX00111000
クラス分類：Ⅲ 高度管理医療機器
一般的名称：治療用電気手術器
販売名：エンドヴィーナス クロージャー システム 3
医療機器承認番号：22800BZX00170000
クラス分類：Ⅲ / 高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

Medtronic
Further, Together

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の添付文書をご参照ください。

© 2021 Medtronic.